

## 2017年12月度 J.フロント リテイリング 百貨店事業 売上速報(日本基準)

※当社は当期から国際会計基準（I F R S）を任意適用しております。なお百貨店事業の店舗別売上高につきましては、引き続き従来の日本基準で開示します。

※数値は速報値のため、毎月中旬に発表している確定報とは誤差が生じることがあります。

※百貨店事業以外の事業も含めた連結ベースによる売上収益報告につきましては、I F R Sの確定値により毎月中旬に開示します。

### ■ 店舗別売上高対前年増減率（％）

店舗	12月度	9～12月度累計	店舗	12月度	9～12月度累計
大丸 心齋橋店	10.3	18.6	松坂屋 名古屋店	▲1.1	0.6
大丸 梅田店	5.5	5.1	松坂屋 上野店	1.4	▲2.1
大丸 東京店	5.7	7.3	松坂屋 静岡店	0.4	▲0.4
大丸 京都店	1.1	3.4	松坂屋 高槻店	1.0	▲0.2
大丸 山科店	▲0.2	0.1	松坂屋 豊田店	▲5.9	▲9.3
大丸 神戸店	1.3	0.9	<b>大丸松坂屋百貨店合計</b>	3.2	4.4
大丸 須磨店	▲0.3	0.1	博多大丸	2.4	3.7
大丸 芦屋店	0.7	0.5	下関大丸	▲3.2	▲3.7
大丸 札幌店	7.6	6.1	高知大丸	▲5.3	▲2.2
			<b>百貨店事業合計</b>	2.9	4.1

※注）・合計の前年は、大丸浦和パルコ店（2017年7月31日営業終了）を除く。

前年に大丸浦和パルコ店を含めた12月度の増減率は、大丸松坂屋百貨店合計 対前年2.7%増、百貨店事業合計 同2.4%増。

9～12月度累計は、大丸松坂屋百貨店合計 対前年3.9%増、百貨店事業合計 同3.6%増。

・当期より不動産事業を独立して管理することとしたため、従来売上高に含めていた不動産賃貸売上のうち、不動産事業に移管した金額を本年・前年度ともに控除しています。

### ■ 概 況

12月度の百貨店事業の売上高は、気温が平年より低く推移したことにより、婦人・紳士ともコートが活発に動き、クリスマス商戦ではアクセサリーや洋品雑貨も好調であったほか、月を通じて化粧品、宝飾品、ラグジュアリーブランドも好調を持続したことなどから、大丸松坂屋百貨店合計では対前年3.2%増、関係百貨店を含めた百貨店事業合計では同2.9%増となった。なお大丸松坂屋百貨店合計は10ヶ月連続、百貨店事業合計は9ヶ月連続で前年実績を上回った。また大丸松坂屋百貨店の免税売上高（速報値）は、対前年64%増（客数同58%増、客単価同4%増）となった。

店舗別では、東京店が16ヶ月連続、札幌店が13ヶ月連続、心齋橋店が12ヶ月連続で対前年プラスとなるなど、直営14店舗中10店舗と博多大丸が前年実績を上回った。上野店は上野フロンティアタワー開業効果により入店客数が約4割増となり、店頭売上も化粧品、婦人靴などを中心に好調に推移した。

お問い合わせ先	J.フロント リテイリング株式会社 コーポレートガバナンス推進部 IR・グループ広報担当
	TEL 03-6895-0178
	FAX 03-6674-7565